

Word の「ルビ」機能を使って自在に文字配置

1. ルビ機能を使った自由な文字配置例

1.1 基本：「ふりがな」としてのルビの標準的な使い方

もばらし モバラシ
茂原市 Mobara-shi

1.2 応用 1：説明文を一体化した表現

有機栽培のナッツがたっぷり
C H O C O N U T S


1.3 応用 2：サイズ違いの文字をまとめルビごと背景色をつけた装飾

【Lesson】
1

1.4 応用 3：文字を強調する傍点 + (色の設定)

ナルク茂原「いちごの会」へようこそ
ナルク茂原「いちごの会」へようこそ

2. 基本形：茂原市にふりがなを付ける。→ ^{もばらし}茂原市

「茂原市」を選択し、フォントのルビ  をクリックし、開いたダイアログボックスのルビ欄を確認。「もばらし」と書かれているので、変更する場合は変更し、OK とする。

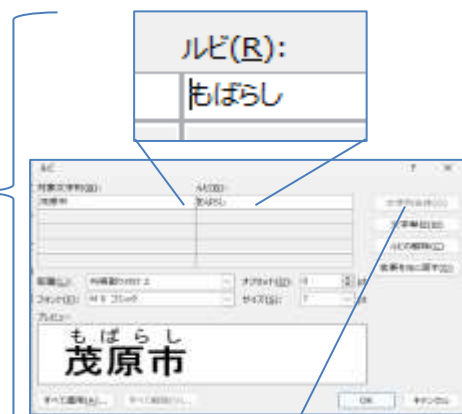
茂原市 → ^{もばらし}茂原市

Mobara-shi → ^{モバラシ}Mobara-shi

対象文字列が複数になる時は

文字列全体(G)

を選択する。



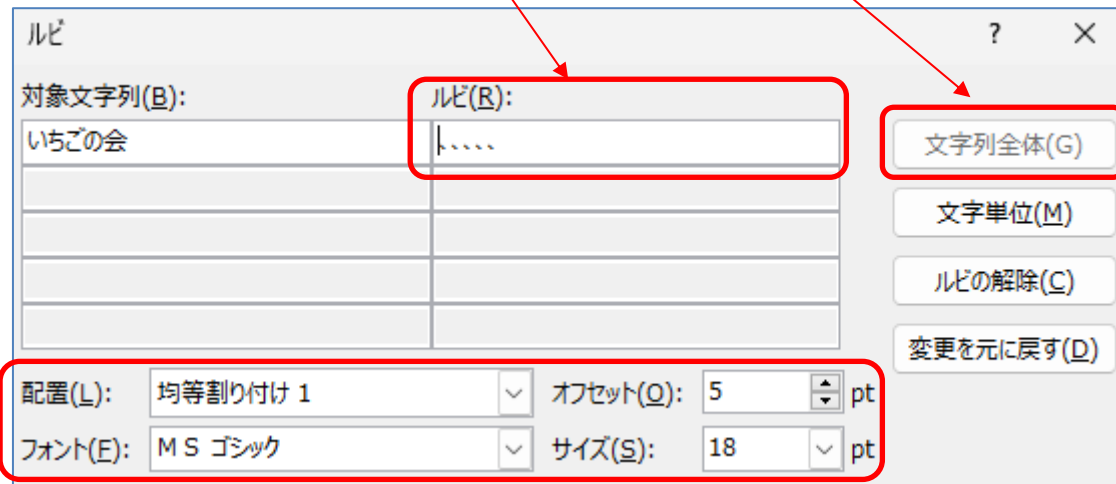
Word の「ルビ」機能を使って自在に文字配置

5. 応用3：文字を強調する傍点 + 色の設定 → 「いちごの会」

- ・傍点を振る文字「いちごの会」を入力して、選択しルビの設定画面を開く。

いちごの会 ルビに全角カンマを5個入力し、5個のカンマを選択し、F8キーで半角に変換する。 文字列全体を選択。

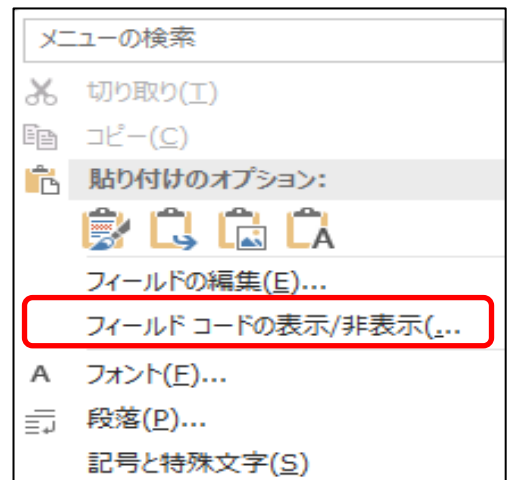
オフセットやサイズ等を設定したら「OK」をクリック。



上記の設定により「 いちごの会 」のようにルビとして傍点が付けられる。

・傍点に色を付ける。

対象の「いちごの会」を右クリックし開いたメニューの「フィールドコードの表示/非表示」を選択すると構文が現れるので、傍点部分を選択して、文字色の赤を指定する。



現れた構文の傍点を選択し、フォント色を赤とする。

```
{EQ ¥* jc1 ¥* "Font:MS ゴシック" ¥* hps36 ¥o¥ad(¥s¥up 16(,,,,,),いちごの会)}
```

```
{EQ ¥* jc1 ¥* "Font:MS ゴシック" ¥* hps36 ¥o¥ad(¥s¥up 16(,,,,,),いちごの会)}
```

構文の傍点が赤になったら、構文を右クリックし、開いたメニューの「フィールドコードの表示/非表示」を選択するといちごの会の傍点が赤となって表示される。

いちごの会

以上